

令和 7 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

[めざす学校像]	
1 「 <u>質実剛健</u> 」にして「 <u>文武両道</u> 」に励む生徒を育てる学校	（質実剛健：夢実現のため躊躇せず挑戦しへこたれず諦めず地道に努力する気質 文武両道：勉強にも部活動にも行事にも真剣に全力で取り組むこと 骨太の人格：基本がしっかりとしていて決してぶれない心と体
2 母校への誇りと地域への愛を持ち続ける生徒を育てる学校	
3 「 <u>骨太の人格</u> 」を備え 21 世紀を支える人材をつくる学校	
[生徒に育みたい力]	
○ 夢と志を語る力（社会に貢献する自分を想像する力／目標を具体的に語る力）	（夢：将来実現させたいと思い描いている願い 志：心に思い定めたある方向をめざす気持ち
○ 努力し続ける力（全力で学び続ける力／貪欲に挑戦し続ける力）	
○ 人権を尊重し人とつながる力（仲間をつくる力／仲間を支える力／仲間を率いる力）	
[教職員に望む力]	
○ チームの一員として自らの役割を自覚し「生徒に育みたい力」を身につけさせる力（豊かな人間性・実践的な専門性・開かれた社会性）	

2 中期的目標

1 「夢と志を語る力」の育成
(1) 確かな学力の定着と系統的な進路指導（なりたい自分から逆算する指導／大学入試改革への対応） ⇒ <u>進路指導満足度を R9 年度に 90%以上の維持</u> （R4:86.9% R5:90.6% R6:90.1 %）
(2) 同窓会の人的資源活用のさらなる推進
(3) 大教大教職コンソーシアム事業への参加促進／有識者による講演の充実
(4) アドバンス教育コースの充実
(5) 進路実現満足度の向上 ⇒ <u>満足度 80%以上を R9 年度まで維持／その結果、国公立大現役進学者数を R9 年度に 70 人（25%）以上維持</u> 合格者数（R4:64 人 R5: 83 人 R6:76 人）
2 「努力し続ける力」の育成
(1) 高い部活動入部率の維持 ⇒ <u>R9 年度まで 92%以上の維持</u> （R4：94.5% R5:96.8% R6:92.5%）
(2) 課外学習時間の増加 ⇒ <u>R9 年度には 2 時間／人・日</u> （R4:1 時間 43 分 R5:1 時間 33 分 R6:2 時間 11 分）
3 「人権を尊重し人とつながる力」の育成
(1) 学校教育自己診断「生徒会行事への積極的取組姿勢」肯定率 ⇒ <u>R9 年度まで 95%以上の維持</u> （R4:96.4% R5:98.2% R6:99.0 %）
(2) 高い部活動入部率の維持 ⇒ <u>R9 年度まで 92%以上の維持</u> （R4:94.5% R5:96.8% R6:92.5%）
(3) 地域、学校園等関係機関と連携した活動の充実
(4) 人権教育・教育相談活動の充実といじめ防止
4 「チーム八尾高」を支える教員力の向上
(1) 学校経営計画中期的目標を踏まえた目標設定（全教職員）と高い同僚性を基盤とした業務の推進
(2) 経験年数の少ない教員を育てる OJT の充実と教職員間のコミュニケーションのさらなる活性化：初任者研修
(3) 授業力向上のための取組みの充実による授業アンケート結果平均の向上 ⇒ <u>R9 年度には 3.5</u> （R4:3.40 R5:3.41 R6:3.43）
(4) 「学校における働き方改革の取組み」による超過勤務時間縮減と生徒に向き合う時間雄拡充
(5) 「学校における働き方改革の取組み」による超過勤務時間縮減と生徒に向き合う時間の拡充-大学入学者選抜改革に即応できる教員力の向上

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔令和8年 2月2日実施分〕	学校運営協議会からの意見
【学校運営】 - ICT ツール（Web 会議システム等）の活用により情報伝達がスムーズになり、組織連携に関する評価が過去3年平均から 23.1%向上した。 - 学校行事において、生徒の主体性を尊重した運営と、1月の「振り返り」による改善、さらに、時代に即したキャッシュレス決済の導入など、「魅力ある行事づくり」のために工夫・改善を行っている点が、高く評価されている。（89.5%） 【学習指導・進路指導】 「基礎学力調査」に基づいた3年間を見通した指導により、生徒が自分の将来や生き方を真剣に考える機会が確保されている点は、生徒・保護者の双方から高く評価されている（生徒 95.3% 保護者 83.1%）。特に大阪教育大学との連携は、教育系をめざす生徒にとって大きな魅力として定着しており、多くの保護者が評価している（91.9%）。 - スマホ利用時間の増加に伴う家庭学習時間の確保が課題となっている（生徒肯定率 76.1% 保護者 62.4%）。今後は学習時間の可視化アプリやICT教材を活用し、生徒が前向きに机に向かえる「きっかけ作り」を支援する取り組みを模索していく必要がある。 【生活指導・安心安全】 - 本校では、単に指示に従わせるのではなく生徒が自ら考え行動する「自律」を重んじる柔軟な指導を大切にしている。この姿勢が生徒の「入学してよかった」という満足度（95.5%）に繋がっている。 - いじめアンケートの実施や、疑いがある際の組織的かつ迅速な初動体制を徹底していることが、生徒および保護者からの「真剣に対応してくれる」という厚い信頼（生徒：96.0% 保護者：87.5%）に結びついている。 【学校行事】 生徒会中心の行事運営を通じて、生徒の 96.1%が高い満足度を実感している。保護者の 93.8%からも「主体性や協働性が育っている」と評価されている。	第1回（5/19） - 公立高校としての信頼感 学科を問わず全生徒に手厚い指導を行う公立高校としての「信頼感」や「安心感」を丁寧に伝えるべきとの意見が出された。 - 学校の特色と魅力発信 学習だけでなく行事や部活動にも全力で取り組める「自由で楽しそう」な本校の魅力を、より積極的に広報すべきとの意見が出された。 - 着実な進学実績の向上 合格者数に変動はあるものの、全体の進学実績は堅調である。単年度の数字だけでなく、中長期的な実績向上を丁寧に発信すべきとの意見が出された。 第2回（10/27） - 特色枠導入に伴う体制整備 新入試制度の特色枠導入に伴い、入学した生徒が通常学級の中に埋もれず、その個性を十分に発揮できるよう、制度の変更に合わせて、学校の体制も刷新すべきとの意見が出された。 第3回（2/2） - 教員の働き方改革 教員の長時間労働を削減するため、部活動指導における OB・OG 等の外部人材をより積極的に活用すべきである。今後、教職員定数の削減が見込まれる中で、早期に外部連携の仕組みを構築しなければ、残された教員の負担がさらに深刻化するとの懸念が示された。 - 生徒の学習時間確保と部活動とのバランス 部活動に全力を注ぐあまり、目標とする学習時間の確保が体力的に困難となっている生徒の実態が共有された。中学時代のコロナ禍による活動自粛の反動という背景も考慮しつつ、生徒が無理なく学習と部活動を両立できるような支援や、健康面に配慮した指導を求める意見が出された。広報活動において、生徒・保護者に対し、写真・映像や在校生の声を活用した、視覚的に伝わる情報発信のさらなる工夫が期待されている。学校生活の活気をより具体的にイメージできるような、親しみやすい広報の充実を求める意見が出された。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標〔R6年度値〕	自己評価
1 「夢と志を語る力」の育成	(1) 系統的な進路指導	(1)教員の進路指導力の向上	(1)学校教育自己診断（生徒）の「進路指導満足度」を 85%以上維持 【95.3%】 国公立大現役合格者数 70 人(25%)以上維持 [76 人 27.6%] 進路指導力向上研修4回	(1) ・【95.3%】平常講習や朝講習、土曜日講習等実施の満足度が高い（○） ・国公立大合格者数【75 人】（○） ・全体研修2回（5・8月）、3年担任等対象（9月）、1年担任等対象（5月）（○）
	(2) <u>アドバンス教育コースの充実</u> と府立高校教職コンソーシアム事業への参加者数拡充	(2) <u>アドバンス教育コースに設けた探究の時間の内容を具体化する。</u> 府立高校教職コンソーシアム事業に参加することのメリットについて1、2年生全員に周知徹底	(2)・新「アドバンス教育コース」の具体化 ・府立高校教職コンソーシアム事業参加生徒数を 45 人以上〔22 人〕	(2)・校内での担当者会議を重ね、外部団体の協力を得て次年度の探究活動実施計画はほぼできたが時間がかかりすぎた。（△） ・【10 人】（△）次年度、生徒への周知方法等見直しが必要。
	(3) 進路実現満足度の向上	(3)講習の充実と教員の進路指導力向上	(3)進路実現満足度 80%以上の維持 [83.3%]	・【95.4%】（◎）

府立八尾高等学校

4 「チーム八尾高」を支える教員力の向上	(3) 学校における働き方改革の取り組み (4) 同窓会・<u>保護者</u>や報道機関と連携した戦略的広報活動の展開	(3) 学校部活動方針（休養日等）の遵守及び全校一斉退庁日の遵守を<u>徹底し</u>、教職員の長時間勤務を縮減する。 <u>4(1))の(ウ)に同じ</u> <u>PC の効率的な使い方の研修を実施する。</u> (4) <u>学校案内のリニューアル</u>とホームページ等を活用した情報発信 JR 八尾駅経由で通学する生徒の取り組み／保護者等の協力を得た学校広報活動の展開	(3) 全校一斉退庁日の実施割合 95%めざす [91%] 超過勤務時間を前年度比5%縮減 [+4.2%] 年間時間外在校時間 720 時間以上教職員の半減めざす [14 人] <u>PC の効率的な使い方研修4回以上</u> (4) 志願倍率 1.05倍以上 [0.99]	(3) ・【76%】(△) ・【－3.5%】(△) ・【7人】(○) ・【4回】職員会議後引き続き短時間の研修を実施 (○) ・学校案内を作成 (○) ・志願者倍率 1.1 (○)
-------------------------	---	--	---	--